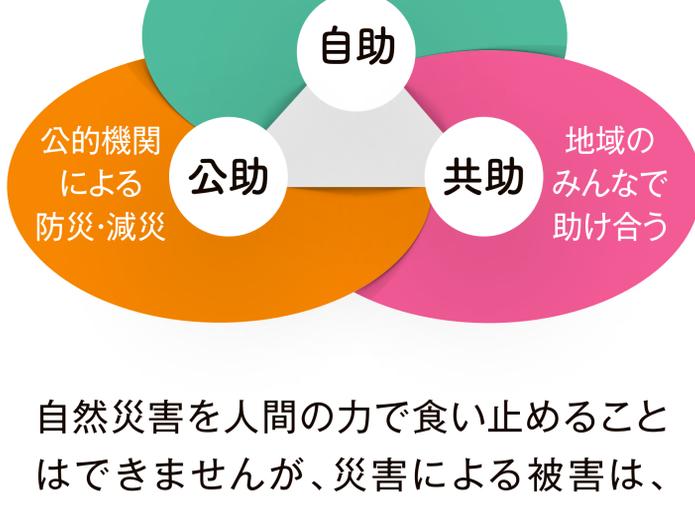


さらなる減災に向けて

防災の3要素 「自助」「共助」「公助」



自然災害を人間の力で食い止めることはできませんが、災害による被害は、我々の力で最小限に抑えることが可能です。

市や消防署等による支援である「公助」や本誌で紹介してきた自分の命は自分で守る「自助」に加え、地域の人みんなで助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。

● 自分達の地域は自分達で守る ●

自治会・集落などの地域活動と防災活動の関係は深く、地域活動の活性化は防災活動の活性化につながり、そして市全体の防災力を向上させます。

「自分は地域の一員」、「地域の人みんなで助け合う」という基本的な考えのもと、自主防災活動などに積極的に参加し、地域全体で連携した「コミュニティ避難」を行うことができる関係を作りましょう。

● 自主防災組織の役割 ●

平常時の活動

防災知識の共有

地域の皆さんで防災に関する正しい情報を共有する。

防災資機材の整備

災害発生時に必要となる防災資機材等を整備し、備蓄品を管理する。

地域内の安全確認

地域の危険箇所や避難経路を確認し、共有する。

防災訓練の実施

避難訓練等の防災訓練を皆さんで実施する。

災害時の活動

情報の収集・伝達

災害に関する正しい情報を収集し、伝達する。

救出・救護活動

負傷者や家屋などの下敷きになった人の救助・救護をする。

初期消火活動

出火防止のための活動や初期消火活動をする。

避難誘導活動

住民を避難所などの安全な場所に誘導する。

要配慮者・避難行動要支援者を守りましょう

皆さま一人ひとりが支援者としての心構えを持ち、地域で個別計画を作成し、要配慮者や避難行動要支援者の

「逃げ遅れ^{ゼロ}・犠牲者^{ゼロ}」

を目指しましょう。

※1「要配慮者」とは、高齢者、障がい者、乳幼児など、配慮を必要とする方のこと。

※2「避難行動要支援者」とは、要配慮者のうち、災害時、避難することが困難であり、支援を必要とする方のこと。